

# 平成28年度事業報告書

奈良経済同友会

## I 概括

平成28年度のわが国経済は、アベノミクスの取り組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いた。ただし、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費及び設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となった。

一方、中小・小規模中心の県内産業は、個人消費や設備投資などの国内需要の低迷に加え、原材料価格の上昇、人手不足など先行きの厳しい経営環境が懸念され、不透明な経済環境が続いた。

このような中、当会は、例会活動において、国や県幹部、県内自治体首長、企業経営者などによる講演、東海地区への出張視察見学、忘年会での狂言鑑賞、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携、ワインセミナーなど多岐にわたるテーマで見聞を広めるとともに、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し、おおいに交流を深めた。恒例の年頭所感では、「人口減少を食い止める」を提言活動目標とし、そのための方策として「若者の県外流出を抑える(次世代の担い手を確保)」「地域の魅力向上で交流人口・定住人口の増加を」「子供を産み、育てやすい奈良をつくる(人口の自然増)」の3つの切り口から奈良県活性化策について提言をまとめ年頭の記者会見で発表した。フォーラムでは、「フィンテック」「昨今の戦略環境と日本の安全保障」「ブランドの作り方・育て方」など多彩な切り口のテーマで見識を広める一方、タイ(バンコク・アユタヤ)への視察研修、ゴルフ親睦会などで交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強にも努め、魅力ある同友会活動を継続的に推進した。

対外交流活動では、第29回全国経済同友会セミナー(岡山市)、第114回西日本経済同友会会員合同懇談会(広島市)、第3回西日本経済同友会代表者会議(神戸市)、全国経済同友会代表幹事円卓会議(浜松市)、京滋奈代表者懇談会(大津市)などへの参加を通じて、県外経済同友会会員、代表幹事等との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業、京奈和自動車道の整備促進など積極的に推進した。

以上本年の当会は、より多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団として、地に着いた活動を展開した。

## II 会合日誌

### 1. 総会

◎5月12日

於 ホテル日航奈良

#### 1. 議題

- ①平成27年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
- ②平成28年度事業計画(案)並びに平成28年度収支予算(案)審議の件
- ③平成28・29年度役員選任の件
- ④「平成28年熊本地震」義援金への支出の件
- ⑤その他

・特別会員委嘱について

#### 1. 記念特別講演

於 ホテル日航奈良

講師 京都大学総長 山極 壽一 氏  
テーマ 「共感社会の進化とIT社会の未来」

- 出席者 77名  
1. 会員懇親会 於 ホテル日航奈良  
出席者 63名

## 2. 特別幹事・正副代表幹事会

◎3月9日 於 奈良商工会議所会館会議室

### 1. 議題

- ①委員会立ち上げについて
- ②地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)との連携について
- ③「(仮称) JR 奈良まほろば回遊ループライン」のJR西日本への運行要請について
- ④平成28年度収支決算（着地見込み）
- ⑤平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）
- ⑥今後の予定について  
海外視察研修（米国サンフランシスコ）  
月例会、通常総会等

### ⑦その他

1. 出席者 10名

## 3. 幹事会

◎4月22日 於 経済会館（奈良県経済倶楽部）

### 1. 議題

- ①平成27年度事業報告並びに同収支決算報告承認の件
- ②平成28年度事業計画（案）並びに収支予算（案）審議の件
- ③平成28・29年度役員推薦の件
- ④その他  
・特別会員の委嘱について  
・熊本地震義援金への支出について

1. 出席者 26名

◎7月19日 於 奈良商工会議所会館会議室

### 1. 議題

- ①奈良県社労士会からの情報交換会開催申し入れについて
- ②当会創立70周年記念事業について
- ③特別会員の委嘱について
- ④その他

1. 出席者 32名

## 4. 会計監査

◎4月13日 於 三和住宅(株)会議室

1. 出席者 2名

◎4月13日 於 三笠産業(株)会議室

1. 出席者 2名

◎4月18日

於 森田会計事務所

1. 出席者 2名

## 5. 例会

◎4月22日

於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「最近の経済情勢等について」
1. 講師 財務省 近畿財務局長 竹内良樹氏
1. 出席者 69名

◎6月15日

於 奈良ホテル

1. テーマ 「MBT (医学を基礎とするまちづくり)」  
～少子高齢社会への対処、産業創生、地方創生のために～
1. 講師 公立大学法人 奈良県立医科大学 理事長・学長 細井裕司氏
1. 出席者 64名

◎7月19日

於 春日ホテル

1. テーマ 「動き出す関西～成長を加速するためのチャンスと課題～」
1. 講師 一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 蔭山秀一氏  
(株式会社三井住友銀行 取締役副会長)
1. 参加者 67名

◎8月6日 (特別例会)

於 淀川河川敷

1. 観覧 淀川花火大会 観覧ツアー
1. 出席者 25名

◎9月9日 (視察・見学)

1. 見学先 航空自衛隊小牧基地  
トヨタ自動車 (元町工場、トヨタ会館) 視察  
MIRAI開発責任者によるレクチャー
1. 出席者 28名

◎10月21日

於 ホテルサンルート奈良

1. テーマ 「飛鳥創生戦略」
1. 講師 明日香村 村長 森川裕一氏
1. 出席者 72名

◎11月14日

於 ホテル日航奈良

1. テーマ 「伊勢志摩サミットを終えて」
1. 講師 株式会社 近鉄・都ホテルズ  
取締役 経営企画部および博多プロジェクト推進室担当 南浦彰氏
1. 出席者 70名

◎12月9日 (狂言鑑賞と忘年会)

於 奈良ホテル

1. テーマ 「狂言とは」「奈良と狂言のかかわり」について  
ワークショップ「笑うことの大切さ・可笑しさ」

「素袍落（すおおとし）」解説

- 1 演目 「素袍落」  
1. 講師・演者 狂言師 茂山良暢氏  
山口耕道氏  
岡村宏懇氏  
1. 出席者 69名

◎1月23日 於 奈良女子大学  
奈良商工会議所会館会議室

○奈良女子大学（講演）

「奈良女子大学のグローバル化に向けた取組みについて」

テーマ：「グローバルとローカル」

講師：奈良女子大学 研究院生活環境科学系教授 中山 徹 氏

テーマ：「グローバル人材の育成に向けて—国際交流センターの取組み紹介」

講師：奈良女子大学国際交流センター講師 松永 光代 氏

テーマ：「奈良女子大学とバングラデシュ・ベトナムとの理系学術交流活動について」

講師：奈良女子大学 研究院自然科学系教授 高須 夫悟 氏

○奈良経済同友会（講演）

テーマ：「奈良県における国際交流の現状と課題」

講師：公益社団法人まちづくり国際交流センター理事長 吉田 浩巳 氏

懇親会 於 奈良商工会議所会館会議室

1. 出席者 64名（当会 46名）

◎2月8日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「産業活性化へ向け奈良で働く人の一層の活躍を」  
1. 講師 奈良県産業・雇用振興部長 森田 康文 氏  
1. 出席者 64名

◎3月31日 於 ホテル日航奈良

1. テーマ 「世界を感動させる日本ワインを目指して」  
1. 講師 サントリーワインインターナショナル株式会社  
執行役員生産研究本部長 高田 清文 氏  
1. 出席者 79名

6. 経済講演会

（奈良商工会議所、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催）

◎2月27日 於 奈良商工会議所会館大ホール

1. テーマ 「内外経済情勢と関西経済」  
1. 講師 日本銀行理事 大阪支店長 宮野谷 篤 氏  
1. 出席者 95名（当会 71名）

## 7. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 20名

## 8. 合同新年名刺交換会

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎1月6日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 約800名

## 9. フォーラム

◎7月25日 於 奈良ホテル

1. テーマ 「世の中はどう変わる？」

～フィンテック、IoT、ドローン…新しい潮流と仕事革命～

1. 講師 株式会社NTTデータ経営研究所

金融政策コンサルティングユニット 兼

情報未来研究センター デジタルコグニティブサイエンスセンター

DCSマーケティング推進室 コンサルタント 桜井 駿 氏

1. 出席者 55名

◎11月1日 於 奈良ホテル

1. テーマ 「昨今の戦略環境と日本の安全保障」

1. 講師 丸紅株式会社 航空機・船舶本部 顧問 番匠 幸一郎 氏

1. 出席者 41名

◎1月28日 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. テーマ 「ブランドの作り方・育て方」

1. 講師 株式会社 生産者直売のれん会 代表取締役社長 黒川 健太 氏

1. 出席者 59名

## 10. 山田善久 前代表幹事 慰労会

◎6月27日 於 ラ・テラス オールデイダイニング

1. 出席者 61名

## 11. 平成29年年頭所感起草委員会

◎10月21日(第1回) 於 奈良市ならまちセンター会議室

1. 議題

①具体的な提言テーマについての意見交換、テーマの洗い出し(想定されるテーマ)

・地方創生(地域活性化、地場・観光産業の振興、スポーツツーリズム)

・人口減少社会への対応(コンパクトシティ、限界集落、交流人口増加)

・働く場づくり(企業誘致、新産業育成)

・鉄道道路網等交通インフラの整備促進(京奈和道、リニア中央新幹線)

②その他

1. 出席者 14名

◎11月14日(第2回)

於 ホテル日航奈良

1. 議題

①提言テーマの絞り込み、決定

1. 出席者 13名

◎12月9日(第3回)

於 奈良商工会議所会議室

1. 議題

①年頭所感(案)を基に最終案に向けて討議

1. 出席者 13名

12. 海外視察研修・タイ(バンコク・アユタヤ)

1. と き 5月26日～29日

1. 視察研修

- ・GMB株式会社
- ・株式会社関西発條製作所
- ・みずほ銀行バンコク支店
- ・ジェトロ・バンコク事務所
- ・味の素アユタヤ工場

ほか

1. 参加者 30名

13. ゴルフ親睦会

◎5月21日

於 飛鳥カンツリー倶楽部

1. 出席者 23名

◎11月19日

於 グランデージゴルフ倶楽部

1. 出席者 17名

14. 京滋奈代表者懇談会

(京都、滋賀、奈良3経済同友会)

◎2月2日(第16回京滋奈代表者懇談会)  
会議次第

於 比良山荘

1. 議題

①各経済同友会の主な活動について

②その他

1. 出席者 8名(当会 2名)

15. 京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議

(5府県市(京都府、滋賀県、奈良県、三重県、京都市)、6経済団体(京都・大阪・奈良  
3商工会議所、京都・滋賀・奈良3経済同友会共催)

◎2月1日

於 奈良県明日香村・桜井市

会議次第

1. 議題

①意見交換会

- ・平成27年度の事業報告と収支報告
- ・平成28年度の事業計画と収支予算

## ②公園

テーマ「広域観光連携に関して」

講師 奈良県観光局観光プロモーション課  
課長 阿部辰雄

## ③意見交換

1. 出席者 16名（当会 1名）

## 16. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県デジタルビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月13日

於 奈良商工会議所会館会議室

<リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会・理事会>

### 1. 議事

- (1)平成27年度事業報告及び同収支決算報告について
- (2)平成28年度事業計画（案）および同収支予算（案）について
- (3)役員改選について
- (4)その他

### 1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」  
講師 奈良県県土マネジメント部 地域交通課  
課長補佐 中川 智巨

1. 出席者 21名

## 17. 京奈和自動車道建設促進関連

◎7月27日

於 奈良商工会議所会館会議室

<京奈和自動車道建設促進奈良県民会議・理事会>

### 1. 議事

総会に付議すべき事項について

1. 出席者 17名

◎7月27日

於 奈良商工会議所会館4階中ホール

<京奈和自動車道建設促進県民会議・総会>

### 1. 議事

- ① 平成27年度事業報告及び同収支決算報告について
- ② 平成28年度事業計画（案）及び同収支予算（案）について
- ③ 役員改選について
- ④ その他

### 1. 講演

テーマ 京奈和自動車道の進捗状況について  
講師 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所長 宮西洋幸

1. 出席者 45名



## 18. 第14回産学連携のための経営者セミナー・懇談会共催事業

### ○奈良県大学連合

奈良教育大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立大学、奈良県立医科大学、帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良学園大学

### ○県内経済諸団体

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、(一社) 奈良経済産業協会、(公社) 奈良県地域産業振興センター、奈良経済同友会

◎3月10日

於 奈良県立医科大学厳櫃会館他

### 1. 講演

テーマ 「やまと」再構築に向けた大学の取り組み

講師 奈良大学 研究院人文科学系

学長補佐(社会連携担当)・教授 内田忠賢氏

テーマ 「学生の主体性を育むキャリア教育の在り方とは」

講師 奈良学園大学 人間教育学部 専任講師 岡野聡子氏

### 1. 懇談会

1. 出席者 30名(当会 2名)

## 19. 全国経済同友会セミナー

<第29回>

◎4月14日～15日

於 ホテルグランヴィア岡山

ANAクラウンプラザホテル岡山

岡山コンベンションセンター

<4月14日>

大会次第

1. テーマ 世界に輝く地域を創ろう

～桃太郎の郷(くに)から発進～

### 1. 基調講演

テーマ 「地域」から日はまた昇る

～ Local powerhouses in a global economy ～

講師 Bill Emmott 氏 英国人ジャーナリスト(「エコノミスト」誌元編集長)

### 1. 分科会討議

①日本ものづくりの復権～オープンイノベーションによる新たな価値創造～

②分散型電源による地域経済の活性化・エネルギー供給網の強靱化について

③医療・介護改革で世界の先端をいく安全安心な社会を

④地域の特色ある『スポーツ・文化』を活かした『まちおこし』『観光振興』

⑤地方創生に向けた課題～地域経済の好循環を実現するために～

### 1. 懇親パーティー

1. 懇親パーティー後「サーカス・ナイト」

・岡山が生んだ“世界三大サーカス”の一つ木下サーカスのメンバーによるサーカス

<4月15日>

### 1. 分科会報告

1. 総括挨拶 小林 喜光 氏 (公社) 経済同友会 代表幹事

(株) 三菱ケミカルホールディングス 会長

## 1. 特別講演

テーマ：「文化・芸術・人文学の力」…経済人の視点から考える…

講師：大原 謙一郎 氏 (一社) 岡山経済同友会 顧問  
(公財) 大原美術館 理事長

1. 閉会挨拶 松田 久 氏 (一社) 岡山経済同友会 代表幹事  
両備ホールディングス (株) 社長

1. 出席者 1, 420名 (当会 19名)

## <エクスカージョン>

- ・同伴者向けエクスカージョン (4月14日、半日)
  - ・Aコース：日本三名園・岡山後樂園と美術館
- ・同伴者向けエクスカージョン (4月15日、半日)
  - ・Bコース：里山資本主義…まにわのチャレンジを学ぶ
- ・セミナー終了後 (4月15日、半日)
  - ・Cコース：技術の融合で世界に飛躍する岡山のものづくりを訪ねて
- ・セミナー終了後 (4月15日、半日)
  - ・Dコース：ゆったり岡山カルチャーゾーンめぐり
- ・セミナー終了後 (4月15日、半日)
  - ・Eコース：備前焼のふるさとを訪ねて
- ・セミナー終了後 (4月15日・16日、1泊2日)
  - ・Fコース：瀬戸内の芸術の島を訪ねて
- ・セミナー終了後 (4月15日・16日、1泊2日)
  - ・Gコース：大原美術館と倉敷の街堪能&児島・下津井へ
- ・セミナー翌日 (4月16日)
  - ・Hコース：名門「東児が丘マリンヒルズゴルフクラブ」での親睦ゴルフ大会

## 20. 第114回西日本経済同友会会員合同懇談会

◎10月28日～29日

於 リーガロイヤルホテル広島

1. 懇談会 会場：リーガロイヤルホテル広島
1. テーマ 輝け！わが都市、わが故郷  
～“まちづくり・ものづくり・ひとづくり”で、地方創生～
1. オープニング サンドアートパフォーマンス Pomu (サンドアーティスト)
1. 基調講演  
テーマ 「真の『地方創生』には何が必要か」  
講師 片山 善博 氏 (慶応義塾大学教授、元総務大臣)
1. パネルディスカッション  
パネリスト：角倉 博志 (広島経済同友会 広島地域活性化委員会 委員長)  
高木 廣治 (広島経済同友会 人口回復委員会 委員長)  
山川 肖美 (広島修道大学 副学長)
- アドバイザー：  
片山 善博 (慶応義塾大学教授、元総務大臣)
- ファシリテーター：  
森信 秀樹 (広島経済同友会 代表幹事)
1. ウェルカムアトラクション：マリンバ演奏 広島ジュニアマリンバアンサンブル
1. 懇親パーティー 会場：リーガロイヤルホテル広島

1. オープニングアテンション：太鼓演奏 東広島次郎丸太鼓
1. 歓談アトラクション：ウッドベースジャズLIVE 井上博義
1. 出席者 631名（うち当会 20名）

<エクスカーション>

レディースコース（半日コース）：

なでしこジャパンにも贈られた熊野筆工場見学・筆づくり体験・スイーツ

ナイトコース（懇親パーティー終了後）：リーガトップで過ごすジャズタイム

Aコース（半日コース）：名画鑑賞とクラシックのしらべ

Bコース（日帰りコース）：広島の名庭園・名画と神楽を満喫する

Cコース（日帰りコース）：戦艦大和の誕生の地・呉と朝鮮通信使ゆかりの下蒲刈を巡る

Dコース（ゴルフコース）：広島カンツリー倶楽部 八本松コース

## 21. 第3回西日本経済同友会代表者会議

◎7月15日

於 神戸ポートピアホテル

代表者会議次第

1. テーマ 「産官学（公）連携で地域創生の深化を」
1. 開会挨拶 (神戸) 代表幹事 高士 薫 神戸新聞社・社長  
(関西) 代表幹事 鈴木 博之 丸一鋼管・会長兼CEO
1. 司会 (神戸) 代表幹事 高士 薫 神戸新聞社・社長  
(関西) 代表幹事 鈴木 博之 丸一鋼管・会長兼CEO
1. 各同友会からの報告  
広島、島根、土佐、愛媛、鳥取、
1. 意見交換  
・共同アピールに向けた論点整理  
・各論点について意見交換  
共同アピールの採択
1. 事務連絡  
・第114回西日本経済同友会会員合同懇談会 案内（広島）  
・第4回西日本代表者会議について（関西）
1. 閉会挨拶 (神戸) 代表幹事 塚本 晃彦 神戸製鋼所・顧問
1. 懇親パーティー
1. 出席者 70名（当会 3名）

## 22. 諸会議出席

※2016年度全国経済同友会事務局長会議

とき 9月14日～15日

ところ ダイワロイネットホテル（和歌山市）

出席者 井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

とき 10月28日

ところ リーガロイヤルホテル広島（広島市）

出席者 山本太治代表幹事、北義彦代表幹事、井阪英夫事務局長

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 12月5日

ところ ホテルオークラ アクトシティ浜松 (浜松市)

出席者 山本太治代表幹事、北義彦代表幹事、井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会事務局長会議

と き 2月28日

ところ ホテルグランヴィア大阪 (大阪市)

出席者 井阪英夫事務局長

### III 会勢

#### 1. 平成28年度役員・委員会委員

##### <平成28年度役員名簿>

代表幹事	山本太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
代表幹事	北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
特別幹事	中野重宏	(株)ホテルサンルート奈良	代表取締役会長
特別幹事	福本良平	(株)福本設計	代表取締役会長
特別幹事	鳶川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
特別幹事	山田善久	大光宣伝(株)	取締役社長
副代表幹事	石井昌	東洋精密工業(株)	取締役会長
副代表幹事	田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
副代表幹事	脇本吉清	ワキ製菓(株)	代表取締役会長
副代表幹事	吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役社長
副代表幹事	井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
幹事	朝廣佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹事	乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
幹事	植嶋修治	(株)植嶋	取締役社長
幹事	上田昌平	(株)レナ	代表取締役
幹事	植田英寛	(株)中和商事	取締役社長
幹事	卜部能尚	ウラベ木材工業	代表者
幹事	太田嗣郎	三和ゴム工業(株)	取締役社長
幹事	大歳清次	奈良信用金庫	理事長
幹事	角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
幹事	菊池攻	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹事	黒田浩之	黒田会計事務所	所長
幹事	小西恵美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹事	小山新造	小山(株)	取締役社長
幹事	近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
幹事	佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
幹事	谷奥忠嗣	谷一木材(株)	取締役社長
幹事	谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
幹事	田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
幹事	辻将央	大峰堂薬品工業(株)	取締役社長

幹事	出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
幹事	鐵東敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	代表取締役
幹事	豊澤安男	奈良豊澤酒造(株)	代表取締役会長
幹事	中尾七隆	(株)中尾組	専務取締役
幹事	中村光良	中村建設(株)	取締役社長
幹事	萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
幹事	畠山晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
幹事	林田壽昭	三笠産業(株)	取締役社長
幹事	平山文堂	ダイワ精密プレス(株)	代表取締役社長
幹事	藤田寿美子	学校法人ハルナ学園	理事長
幹事	真柴幸雄	ダイシン化工(株)	代表取締役
幹事	松本喜久子	社会福祉法人白鳳会西大和保育園	理事長・園長
幹事	水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
幹事	森川善隆	大和信用金庫	専務理事
幹事	森雅彦	DMG森精機(株)	取締役社長
幹事	森田康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
幹事	森本俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長
幹事	吉田明史	(株)花の大和	取締役社長
幹事	吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
監事	森田務	税理士法人森田会計事務所	代表社員

＜平成29年年頭所感起草委員会委員名簿＞

◎山本太治	(株)三輪そうめん山本	取締役社長
◎北義彦	(株)南都銀行	常務取締役
寫川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
石井昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
脇本吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
井村守宏	(株)イムラ封筒	代表取締役会長
上田昌平	(株)レナ	代表取締役
大歳清次	奈良信用金庫	理事長
角谷守啓	奈良交通(株)	常務取締役
小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
田村健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
出口悦弘	ディライト(株)	代表取締役会長
鐵東敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	代表取締役
中村光良	中村建設(株)	取締役社長

矢田 浩司 (株)近鉄百貨店 常務執行役員店長  
 吉田 浩巳 (公社)まちづくり国際交流センター 理事長  
 ◎印は代表幹事

## 2. 入退会者

### ◎新入会者（9名）（※印は再入会）

小西 仁	明治安田生命保険(相)	奈良駅前営業所長 (28.4)
伊藤 良次	(株)大和軒	代表取締役 (28.4)
山下 明	(株)奈良ロイヤルホテル	代表取締役 (28.6)
前川 浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役 (28.8)
後岡 美咲子	原口運輸商事(株)	代表取締役 (28.9)
今井 宏	(有)ピッツバーグ	代表取締役 (28.10)
真砂 知恵美	プレール	代表 (28.11)
川端 晋介	(株)ダイワ	常務取締役 (29.3)
※平 越 國 康	(株)丸国林業	取締役営業部長 (29.3)

### ◎交代入会者（12名）

板床 俊祐	野村証券(株)	奈良支店長 (28.4)
黒沢 順	損害保険ジャパン日本興亜(株)	奈良支店長 (28.4)
高崎 栄一	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長 (28.4)
乾 賀世子	SMBC 日興証券(株)	学園前支店長 (28.4)
大辻 宏紀	日本通運(株)	奈良支店長 (28.4)
西垣 雅史	西垣林業(株)	取締役副社長 (28.5)
山崎 久義	(株)商工組合中央金庫	奈良支店長 (28.9)
市野 周平	アサヒビル(株)大阪奈良支店長	支店長 (28.10)
萩本 敦士	(株)東京三菱UFJ 銀行	奈良支店長 (28.10)
千崎 育利	有限責任監査法人トーマツ	パートナー (28.11)
桑原 克仁	近鉄ケーブルネットワーク(株)	代表取締役社長 (28.11)
高木 日出男	オリックス(株)	奈良支店長 (28.4)

### ◎退会者（5名）

河口 博之	(株)公益社	代表取締役 (28.5)
前川 佳央	前川(株)	代表取締役社長 (28.5)
植田 和彦	植田蚊帳(株)	代表取締役社長 (29.3)
林 秀明	はやし労務経営事務所	所長 (29.3)
中野 重宏	(株)ホテルサンルート奈良	代表取締役会長 (29.3)

## 3. 平成28年度末会員数

168名

## IV 資料

### 平成28年度事業計画

#### 奈良経済同友会

雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復に向かうことが期待される一方で、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動などもあり景気の下押しリスクも次第に大きくなり、企業の経営環境は予断を許さない状況となっている。

中小零細企業が大半を占める地域経済は、人口の東京一極集中、少子高齢化の進展、人手不足、産業構造の変化など急激な環境変化に見舞われている。今後、経済のグローバル化や労働力人口減少に伴う雇用確保・人件費上昇などの諸問題を乗り越え、企業の生き残りを図るとともに、地域経済の確かな担い手として独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していく必要がある。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定し、実行する。

#### <事業計画>

##### I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、新入会員勧誘の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会・野球観戦など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

##### II 「行政との懇談会」の実施

- (1) 社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

##### III 「研究」「提言」活動

平成28年年頭所感に掲げた提言活動目標「人が集まり定住するしくみを組み立て、魅力あふれる奈良県をつくろう」の趣旨にもとづき、人口減少を食い止め地域の活力を向上させるための方策と

して、次の項目に関する「研究」および「提言」活動を行う。

- (1) 奈良で住む魅力の向上  
「出産・子育てしやすい」「働きやすい」「生活しやすい」奈良をつくるための方策の研究
- (2) 奈良を訪れる魅力の向上  
県内外観光地、観光関連業者等が連携し一体となって奈良の観光魅力を高める「つなぐ観光」や「滞在型・時間消費型観光」などの推進
- (3) 奈良で企業活動する魅力の向上  
「道路交通インフラの整備」「リニア中央新幹線の同時開業促進、奈良中間駅の早期一本化」などの推進

#### IV 「ホームページ」の充実

- (1) 活動報告や企業紹介などを通じた情報発信の充実・強化

#### V 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

#### VI 「ネットワーク」活動

- (1) 京都・滋賀・奈良3経済同友会で組織する「京滋奈代表者懇談会」への参加・交流
- (2) 5府県市（京都府・滋賀県・三重県・奈良県・京都市）、3商工会議所（京都・大津・奈良）、3経済同友会（京都・滋賀・奈良）による「京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議」の開催
- (3) 全国経済同友会セミナー、西日本経済同友会代表者会議、西日本経済同友会会員合同懇談会などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化
- (4) 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」（奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学）への参画

#### VII 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の同時開通と京奈和自動車道の整備促進

以 上



平成29年1月6日

## 「人口減少を食い止める」

### 奈良経済同友会 平成29年年頭所感

奈良県の人口は平成28年10月1日現在で約136万人、17年連続の減少となっている。社会減（転入人口－転出人口）は平成12年から、自然減（出生人口－死亡人口）は平成17年からで、毎年の減少幅は徐々に拡大が進んでいる。

奈良県の人口は今後も減少することが確実で、国立社会保障・人口問題研究所（平成25年推計）によると、平成37（2025）年に約128万人に、平成52（2040）年には約110万人になると予想されている。人口規模の大小は生産・消費・設備投資などあらゆる経済活動のベースとなる。経済が発展するところに人が集まり、逆に経済が衰退するところからは人が離れていく。人口規模の大小は取りも直さず地域の経済力の大小であり、人口減少時代のいまこそ地域活力維持のため人口減少をいかに食い止めるかが問われている。

奈良経済同友会は、何よりも奈良県の活性化を願い、今後も安定的に発展することを願っている。平成29年の年頭にあたり、今後の奈良県の活性化をめざすうえで奈良県の人口問題こそがその根本であると考え、奈良県の人口減少を食い止める方策について以下に所感を表明する。

#### **I. 若者の県外流出を抑える（次世代の担い手を確保）**

県外へ移住する若者が増えている。人口減を食い止めるためには、次世代の担い手となる若者に県内に踏みとどまってもらうことが必要不可欠であると考え、そのための方策として、次の4点に取り組んでいきたい。

##### 1. 県内大学による地方創生推進事業（COC+）に積極的にかかわる

現在、奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学では「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」への取り組みが進められている。当事業は産学官連携で若年層の地元定着、地域の雇用創出などを目標としており、地方創生の一翼を担うものであるが、当会も参加企業の一員として、当事業に積極的にかかわっていく。主な実施事項としては、次の2点を予定している。

##### ◇インターンシップの積極的活用

インターンシップは学生に県内企業を知らせる絶好の機会であり、学生にとっても社会人としての基礎力を養い、学習の動機付けにも役立つ。県内企業の魅力がわかれば、就職への橋渡しにもなる。大学等とも連携し、学生・企業双方にメリットのあるインターンシップのあり方を探り、県内企業への就職者数増加に寄与していきたい。

##### ◇経営トップの出張講座実施

経営トップが実践で得た経験を大学に出かけて学生に講義する。学生が実社会のビジネスを身近に感じ学習する機会をつくとともに、大学の実践的な人材育成にも寄与するものとしていきたい。また、県内企業にとっては自社の存在および自社ビジネスアピールの機会ともなる。

## 2. 「地元への誇り」を醸成する教育カリキュラム導入の提唱

県内の小・中・高校生に奈良県の持つ資産・地域特性を学ぶ教育カリキュラムの導入を提唱する。県内の児童・生徒らが奈良県を将来の活躍・定住の場として自然に受け止められるよう、地域産業・スポーツ、歴史・文化、住環境、伝統の魅力などをまとめ、教育カリキュラムとして取り入れるよう働きかけたい。小さい時から地元のことを学ぶことを通じて「地元への誇り」を醸成すれば、地元の高校生を県内企業や県内の大学に呼び込むためにも、また県外の大学へ進学した学生が就職時に奈良にUターンする動機付けともなるだろう。

## 3. 積極的な産学官連携で企業力の向上

若者の地元就職・定住を目指すには、働く場の確保、地域の産業振興は必要不可欠である。県外からの継続的な企業誘致で働く場を確保するのと並行して、県内企業が日々研鑽することで企業力を向上させ若者にとって魅力ある企業とならなければならない。そのためには県内企業は自社の革新とさらなる成長に向け産学官連携を大いに活用すべきである。企業力向上で学生にとっての企業魅力の向上をはかることで県内企業における優秀な人材の確保につなげていきたい。

## 4. 県外の大学に進学した学生への県内企業情報の提供

多様な能力、人材を必要とする企業のため、県外に進学した大学生への県内企業情報の提供も欠かせない。県外の大学における県内企業合同の就職説明会、県外進学学生向けネット就職情報の発信などが、県、関連団体の協力を得て実施されることが望まれる。

## Ⅱ. 地域の魅力向上で交流人口・定住人口の増加を

地域の人口減少を食い止めるためには、その地域に訪れる又は住まうだけの魅力が求められる。引き続き、リニア中央新幹線（大阪・名古屋間）の早期開業、京奈和自動車道の全線開通など、奈良県を取り巻く交通インフラ整備を求めていくのと並行して、「観光地」あるいは「定住地」としての魅力を磨き、交流人口、定住人口の増加を図っていきたい。

### 1. 観光地としての魅力向上

人口減少が続くなか、まち歩きや仏像鑑賞ブーム、インバウンドの増加などで近年奈良を訪れる観光客が増加している（交流人口の増加）。この流れをうまく活用し、地域の活性化につなげていきたい。交流人口増加のためには、奈良の観光地としてのさらなる魅力向上が必要である。その方策として、次の3点を挙げたい。

◇いつ来ても、何か楽しいことがある奈良に

「燈花会」「大立山まつり」「シェフェスタ」「ムジークフェスト」「奈良マラソン」など、民間・行政の努力により奈良においても観光・食・芸術・スポーツなど多彩な切り口でのイベントが立ち上がってきた。「いつ来ても、何か楽しいことがある奈良」というイメージをさらに定着させることで観光地奈良の魅力を向上させ交流人口増加につなげていきたい。

◇回遊する楽しみを育てる

「まち歩き」が静かなブームを呼んでいる。この楽しみを支えるのは、魅力ある飲食店、小売り・雑貨店などの集積である。元気な中高年や女性をターゲットに、奈良市内だけでなく、橿原市・今井町や大宇陀・松山地区、五條市・新町地区などまち歩き・回遊する魅力あふれるまちなみを育てていきたい。また、J R桜井線・和歌山線・大和路線を經由し奈良盆地を乗り

換えなしで周遊できる列車の運行も奈良を回遊するために必要な交通手段として検討を重ねていきたい。

#### ◇奈良らしい宿泊スタイルの宿泊施設を

平成 22 年の平城遷都 1300 年祭を契機に、奈良市を中心に比較的安価で気軽に泊まれるビジネスホテルの開業が進み宿泊の利便性が向上してきた。今後、奈良に必要なのは、大都市や他の観光地にはない奈良らしい宿泊施設ではないだろうか。ひとときの住人となる古民家・町家宿など、奈良に住まうような感覚で泊まれる宿こそ奈良にふさわしい宿泊施設と考えられる。民泊も含め奈良らしい宿泊スタイルについて模索していきたい。

#### 2. 定住地としての魅力向上

定住地として奈良を選び、住み続けてもらうため（定住人口の維持、増加）には、奈良の定住地としての魅力を維持・向上させていかなければならない。そのポイントとして次の 2 点を挙げたい。

#### ◇住みやすい奈良

定住人口を維持・向上していくためには住みやすさは必要不可欠である。「緑が多い」「大都市に近い」「災害が少ない」など、奈良県は住環境の良さでは定評あるが、今後さらに高齢社会が進むことを考えると、医療面からの住みやすさがより問われてくるものと思われる。

現在、奈良県立医科大学・橿原市などが MBT（医学を基礎とするまちづくり）に取り組んでいる。健康長寿、在宅医療・介護、健康に良い家づくり、高齢者に優しいモノづくりなど、医学を産業分野に応用し産業振興、まちづくりに生かしていこうというものであり、医療面からの住みよいまちづくりの動きとして当会でも支援を行っていきたい。

#### ◇働きやすい奈良

定住人口を確保するためには県内企業等での働きやすさも大きな要素となる。長時間労働を前提とした企業風土の改善など、企業内でワーク・ライフ・バランスの意識を醸成・共有することで働きやすい奈良をめざしていきたい。一方、地域の活性化、女性の活躍という観点から就業率の低い奈良県女性の働きやすさの検討も欠かせない。現在、政府では働き方改革を標榜しているところであるが、当会においても自社における働き方改革について研究・議論を通じて「働きやすい奈良」の実現に向けた努力を続けていきたい。

### **Ⅲ. 子供を産み、育てやすい奈良県をつくる（人口の自然増）**

奈良県の合計特殊出生率（平成 27 年）は 1.35 と全国平均（1.46）と比べて低水準である。これは若者の未婚化（特に奈良県 20 代後半の女性の未婚率は全国 1 位）に加え、晩婚化・晩産化が進んでいることが背景にあると考えられる。奈良県の人口減少を食い止めるためには、奈良県女性が結婚し、出産・子育てしやすい環境を早急につくることが望まれる。行政とも連携し奈良県で一人でも多くの子供が生まれるよう当会でも研究を重ねていきたい。

また、婚活支援に始まり、不妊治療、保育所待機児童の解消、子育て支援、ひとり親家庭への支援などきめ細かな行政支援も切に望まれるところである。

以上